行財政改革前期実施計画 H19年度実施済項目一覧

(平成 19年7月末現在 27項目)

			スケジュール		l	H19年度	
連番	取組項目	取組概要	H19年	H20年	H21年	実施内容	所管部課等
			度	度	度	关心内台	
2	消費生活モニター事業 の廃止	「津市消費生活センター」の開設により、モニター事業に代わり消費生活に関する情報の収集及び啓発を、より効果的に行うことができることから、当該	事業の 廃止	-	-	事業の廃止	市民部 市民交流課 生活相談担当
	<u> </u>	事業を廃止します。					
5	高齢者へル パー家事援 助事業の廃 止	高齢者ヘルパー家事援助事業については、利用実績及び介護保険制度との整合を図るため、当該事業を廃止します。	事業の廃止	-	-	事業の廃止	健康福祉部 高齢・障がい福 祉課 高齢福祉担当
7	高齢者デイ サービス事 業の廃止	高齢者デイサービス事業については、利用実績及び介護保険制度との整合を図るため、当該事業を廃止します。	事業の廃止	-	-	事業の廃止	健康福祉部 高齢・障がい福 祉課 高齢福祉担当
8	高齢者ショ ートステイ事 業の廃止	高齢者ショートステイ事業については、利用実績及び介護保険制度との整合を図るため、当該事業を廃止します。	事業の 廃止	-	-	事業の廃止	健康福祉部 高齢・障がい福 祉課 高齢福祉担当
13	ピースフルフ ラワー ガー デン事業の 廃止	ピースフルフラワーガーデン事業について、近隣において民間事業者による同趣旨の事業が展開されるため、廃止します。	事業の 廃止	-	-	事業の廃止	久居総合支所 地域振興室 地域振興担当
14	千里ヶ丘ま つり事業の 廃止	これまで、市の委託事業として実施してきた千里ヶ丘まつりについては、公的関与の妥当性の観点から市の委託事業としての実施を廃止します。	事業の 廃止	-	-	事業の廃止	河芸総合支所 地域振興室 地域振興担当
15	人と地域の 安全安心推 進事業の廃 止	これまで実施してきた人と地域の安全 安心推進事業については、同趣旨の 防災研修事業が実施されたことに伴い 廃止します。	事業の廃止	-	-	事業の廃止	香良洲総合支 所 市民福祉課 福祉担当
16	白山町秋の 自然歩道体 験ウォーク事 業の廃止	白山町秋の自然歩道体験ウォーク事業について、これまでの利用実績及び住民ニーズの観点から廃止します。	事業の 廃止	-	-	事業の廃止	白山総合支所 地域振興室 地域振興担当
29	道路路面復 旧業務及び 施設修繕業 務の効率化	道路路面復旧、施設修繕業務等の 効率化を図るため、単価契約方式によ る対応が可能であるものについては、 市域を通じて単価契約方式での委託 業務への見直しを図ります。	単価契 約方式 への統 一	継続して実施		単価契約方式の 導入	建設部 道路維持課 道路維持担当

30	建設作業(相川)事務	全市域を対象とした効果的及び効率 的な執行体制の確立を図るため、建設	所管区 域及び	継続して実施		所管区域を見直 し全市域を対象	建設部
	所の執行体制の見直し	作業(相川)事務所に係る所掌業務及 び所管区域の見直しを行います。	所掌業 務の見		COCINE	0 T.16-% C.7.38	道路維持担当
			直し				
44	投票区の再	現行の投票区から、選挙人の利便性	投票区	投票区	投票	6投票区の減	選挙管理委員
	編	に配慮しつつ、投票区の統合・分割に	等の見直し	等の見直し	区等の見	を実施	会事務局 選挙担当
		ついて検討を進め、投票所の見直し及 び投票区の再編を図ります。	(6投票	直り	直し		送手担当
		の技術区の技術を図りより。	区減)				
48	パブリックコ	本市の政策等に係る意思決定過程	制度導	継続し	継続し	制度を導入	総務部
	メント制度の	における住民参加並びに公正の確保	λ	て実施	て実施		広報広聴課
	導入	及び透明性の向上を図るため、パブリ					広聴担当
56		ックコメント制度を導入します。 水道料金の徴収事務について、外部	外部委	継続し	継続し	8月から外部	水道局
30	納業務の外	委託を図ることにより徴収経費の削減	託の実	て実施	て実施	委託を実施	営業課
	部委託	及び収納率の向上を図ります。	施				収納担当
57	津市地域情	民間IDC(データセンター)の利活用	基幹系	検討結	検 討	基幹系サーバ	総務部
	報 センター	による安全・安心な基幹系サーバー等	サーバ	果に基	結 果	一移設済	情報企画課
	の管理運営	の稼働環境を確保しつつ、津市地域	一移設	づ〈取	に基づい		情報システム運
	方法の見直	情報センターの管理運営方法の見直	及び管 理運営	組	づく取 組		用担当
	U	しに向けた検討を進めます。	方法の		WII		
			検討				
65	新町ポンプ	現在、臨時職員により実施している新	外部委	外部委	外 部	ポンプ場巡視	下水道部
	場維持管理	町ポンプ場の日常的な清掃及び沈砂	託の拡	託の継	委託	点検業務の委	下水道施設課
	業務に係る	番場機の運転等の場内維持管理業務 15000万円500米ンプ根が担よた業	大	続	の 継続	託実施	施設担当
	外部委託の 拡大	について、現行のポンプ場巡視点検業 務の委託に加えることにより、経費節減			NO.		
	3/4/	等を図ります。					
77	津市美里農	津市美里農産物加工センターについ	指定管	指定管	指定	指定管理者制	美里総合支所
	産物加工セ	て、民間活力の導入による住民サービ	理者制	理者制	管 理	度の導入	産業建設課
	ンターへの	スの向上及び経費縮減を図るため、指	度の導	度の継	者制		農林水産業振
	指定管理者	定管理者制度の導入に向けた取組を	λ	続	度 の継続		興担当
00	制度の導入	進めます。	40.5		MELMOL	上	+₩△+¤
82	ー志浄化セ ンターの廃	ー志浄化センターについて、流域下 水道の整備に伴い廃止します。	センタ ーの廃	-	-	センターの廃 止	一志総合支所 産業建設課
	止	が色の歪幅に件が廃止 U& 9。	止				維持担当
94	 河芸地域体	これまで市の委託事業として実施して	主催の	継続し	継続し	主催を移管済	河芸総合支所
	育祭事業及	きた河芸地域体育祭事業及び各種ス	移管	て支援	て支援		地域振興室
	び各種スポ	ポーツ大会について、河芸地域体育振					地域振興担当
	ーツ大会の	興事業として統合を図るとともに、公的					
	統合及び主	関与のあり方の観点から、市民団体へ					
	催の移管	主催を移管し、より地域に根ざした住民 参加型の事業展開を図ります。					
95	津市河芸文	多加空の事業展開を図ります。 これまで市の委託事業として実施して	主催の	継続し	継続し	主催を移管済	河芸総合支所
	化祭事業等	きた津市河芸文化祭事業、かわげライ	を管	で支援	で支援	ᅟᅩᄩᅄᄱ	地域振興室
	の実施主体	トミュージックライブコンサート事業、河					地域振興担当
	の移管	芸町子ども音楽会事業及び河芸アドベ					
		ンチャースクール事業について、公的					
		関与のあり方の観点から、市民団体へ					
		主催を移管し、より地域に根ざした住民					
		参加型の事業展開を図ります。					

96	白山町ふれ 愛フェスタの 実施主体の 移管	これまで市の委託事業として実施して きた白山町ふれ愛フェスタについて、 公的関与のあり方の観点から、市民団 体へ主催を移管し、より地域に根ざした 住民参加型の事業展開を図ります。	主催の 移管	継続して支援	継続して支援	主催を移管済	白山総合支所 地域振興室 地域振興担当
104	ホームペー ジへの広告 掲載の導入	新たな財源の確保の観点から、市ホームページへの有料広告掲載を導入します。	有料広 告掲載 の導入	有料広 告掲載 の継続	有広掲の続	7月から有料 広告掲載の導 入	総務部 広報広聴課 広報担当
111	ごみ収集車 への広告掲 載の導入	新たな財源の確保の観点から、ごみ 収集車への有料広告掲載を導入しま す。	有料広 告掲載 の導入	有料広 告掲載 の継続	有広掲の続	4月から有料 広告掲載の導 入	環境部 環境事業課 管理担当
129	河芸町青空 市推進事業 補助の見直 し	これまで補助事業として実施してきた 河芸町青空市推進事業について、実 施団体の努力により自立運営が可能な 状況になってきていることから補助の廃 止を行ないます。	補助の廃止	-	•	補助の廃止	河芸総合支所 地域振興室 地域振興担当
130	河芸直売所 推進事業補 助の見直し	これまで補助事業として実施してきた 河芸直売所推進事業について、実施 団体の努力により自立運営が可能な状 況になってきていることから補助の廃止 を行ないます。	補助の 廃止	-	-	補助の廃止	河芸総合支所 地域振興室 地域振興担当
138	がん検診に 係る自己負 担額の見直 し	現在無料となっている70歳以上のがん検診の受診に係る自己負担額について、年々増加する経費に対応しつつ、今後についても継続した実施を図るため、69歳までの受診者と同様の自己負担額を徴収することとします。	70 以 診 自 担 額 人 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	自己負担の継続	自己 負担 の継 続	70歳以上受 診者の自己負 担額の導入	健康福祉部中央保健センター 保健指導担当
147	枠配分予算 編成方式の 導入	限られた予算をこれまで以上に効率的かつ効果的な運用を図るため、より住民に密着した事業所管の権限と責任のもとに一定の予算の編成を行う枠配分方式の導入を図るとともに、その検証を図ります。 また、枠配分予算の対象とする経費については、段階的な枠配分対象の拡大を図ります。	経常的 経費い で が検証	段なか対費を 拡向 は かけ で かけ で かけ で かけ で かけ で かけ	検 結 は は は は な 取 組	経常的経費に ついて枠配分 予算編成を実 施	財務部財政課財務管理担当
163	学科の再編	志願者数の確保のため、魅力ある短大となるよう時代の要請に応じて常に学科等の改編を図ります。	生スコを福心ース はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと	必要な 見直し	必要な 見直し	生活システム コースを生活 福祉・心理コ ースに改編	三重短期大学 事務局 大学総務担当